

知らなすぎや損する！

# 中小企業が通信コストを 大幅削減する方法

料金プランの見直しで、来月から月額費用を削減できる

「コストを下げる」この特集の2社目には「通信コスト削減のプロ」を紹介したい。ここで言う通信コストとは、固定電話・携帯電話・インターネットの通信料金や複合機のカウンター料金（コピー・プリント料金）のことだ。今回紹介する徳木氏は、これまでに2000社以上の中小企業の通信コストを削減してきた。徳木氏に「コスト削減のポイント」を聞いた。

## 10秒チェックシート

御社はムダな通信コストを支払っていませんか？

こんな会社は要注意！

- ✓ 自社の通信コストの内訳を詳細に把握していない
- ✓ 1年以上、電話料金のプランを見直していない
- ✓ 5年以上前に電話機や複合機を購入またはリース契約した
- ✓ 基本的に通信系営業会社（テレアポや飛び込み）の話は聞かない
- ✓ 電話料金はどの会社でも変わらないと思っている

社員数50名の  
中小企業の場合

毎月の通信料金が下がる！

## コスト削減のモデルケース(月額)



分野	保有数	コンサル前の費用	コンサル後の費用	削減額
固定電話	8回線	8万円	6万円	2万円
携帯電話	20台	14万円	11万円	3万円
複合機	2台	7万円	5万円	2万円

総額  
24%カット！

月間7万円、年間84万円の削減に成功

※複合機・電話機の費用はリース料金を除く

### 通信コスト削減術 全分野

料金プランをごまめに見直す  
削減率：10〜90%

御社はこれまでに2000社以上の通信コストを削減してきたと聞きました。実際、ムダな通信コストを支払っている企業は多いのでしょうか？

徳木：多いですね。90%以上の中小企業がムダな通信コストを支払っています。たとえば電話料金。固定電話や携帯電話は、半年から1年ごとに新しい料金プランが登場しています。特にソフトバンクが参入して以来、通信キャリアの価格競争は激化の一途をたどっている。いまはそのコストメリットを享受しやすい時期なんです。しかし、多くの経営者はその情報を知りません。だから料金プランを見直すことなく、高い電話料金を支払い続けているんです。

### 通信コスト削減術 携帯電話

削減率：10〜90%  
携帯電話の場合、どれくらいコストが削減できるのですか？  
徳木：社員数50名未満の中小企業ですね。この規模の会社には通信キャリアの担当者が直接訪れません。だから新しい料金プランを提案されず、ずっと古い料金プランのままのケースが多いんです。わざわざ「当社の安いプランができたので、

### 通信コスト削減術 固定電話

削減率：10〜90%  
固定電話の場合、どれくらいコストが削減できるのですか？  
徳木：企業によって様々ですが、料金プランの見直しだけで10〜50%削減できます。また一般の電話回線に加入している場合、光ファイバー（※IP電話）に切り替えれば、10〜90%削減することができます。他には、電話回線の契約数を減らす方法もあります。電話の基本料金の大半は回線使用料。電話回線の契約数を減らせば、大幅なコスト削減が可能です。

### 通信コスト削減術 複合機

リース契約を変更し  
カウンター料金の単価を下げる  
削減率：10〜90%  
複合機の場合、どれくらいコストが削減できるのですか？  
徳木：複合機のカウンター料金（コピー・プリント料金）はリース契約時に固定されます。だからリース契約そのものを変えなければ、カウンター料金も変えられません。この数年間でカウンター料金の単価はどんどん下がっています。ですから、カラーコピー・カラープリントが多い会社の場合、複合機ごと切り替えた方がコストの総額を削減できます。同価格の複合機に切り替えた場合、コストの総額は10〜90%削減できるでしょう。

パイロットプロジェクト  
代表取締役  
徳木 近夫



とくちちかお  
1973年、石川県生まれ。  
金沢工業大学を卒業後、広告代理店に入社。その後通信会社勤務を経て、2001年に株式会社パイロットプロジェクトを設立し、代表取締役に就任。同社は名古屋、金沢、東京に拠点を拡大し、着実な成長を続けている。

### 通信コスト削減術 固定電話

一般の電話回線を  
光ファイバーに切り替える  
削減率：10〜90%  
固定電話の場合、どれくらいコストが削減できるのですか？  
徳木：企業によって様々ですが、料金プランの見直しだけで10〜50%削減できます。また一般の電話回線に加入している場合、光ファイバー（※IP電話）に切り替えれば、10〜90%削減することができます。他には、電話回線の契約数を減らす方法もあります。電話の基本料金の大半は回線使用料。電話回線の契約数を減らせば、大幅なコスト削減が可能です。

固定電話、携帯電話、複合機など、一つひとつの契約を見直すには手間がかかりますか？  
徳木：確かに、最適なプランを一つひとつ探すのは面倒かもしれません。だから、当社のようなプロが通信コストの削減を支援しているんです。法律のプロは弁護士、会計のプロは会計士。同じように通信分野にもプロが必要だと当社は考えます。ちなみに当社の強みは、診断と提案のスピードです。まずクライアントの各種料金の明細書を確認。そして簡単なヒアリングを行った後、数日中に最適なプランをご提案します。だからクライアントは手間をかけずに、登録翌月から通信コストを削減できるわけです。そして、クライアントが当社に支払う手数料はゼロ。その理由は、当社は通信キャリアなどからの販売手数料で収益を得ているからです。当社は無料診断も行っていますので、ぜひお気軽にお問い合わせしてほしいですね。

※IP電話：インターネット回線や光ファイバー回線を利用した電話サービスのこと。

株式会社パイロットプロジェクト  
設立/2001年6月  
資本金/3,350万円  
従業員数/60名(グループ会社含む)  
事業内容/総合通信コンサルティング  
URL/http://www.p-project.co.jp  
TEL/03-6436-4550

パイロットプロジェクト  検索

CORPORATE PROFILE

コストを下げる

通信コスト削減のプロフェッショナル

株式会社パイロットプロジェクト